



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のこぼ

監事 加藤泰一郎

私もそうだが、SEF 会員の多くは日本経済の高度成長期に会社員を経験してきた。当時は経済一流、政治二流と言われていた。ところがその経済が近年二流になっている。2021 年世界の一人当たり購買力平価 GDP(US\$)ランキングで日本は 36 位!まで低下してしまっている。30 位の韓国の遙か下である。現在の為替で換算すると恐らく 40 位以下ではないだろうか。ある政治家が 20 年前に、ある上場企業に入社した時の初任給は 20.5 万円だったが、現在は 21.5 万円と 20 年で 1 万円しか上がっていないと話していた。20 年で 5%の賃金上昇だ。これでは人材流出が起きるのも無理はない。海外に行かなくても、日本で外資系企業に就職すれば日系企業より遥かに高い給与で採用される。かくして日本企業の競争力は全体として落ち続けている。我々の時代は政治が二流でも一流の経済で日本の国力を高めることができた。科学技術立国として米国を脅かす存在にまで成長した。現在の中国と同じ道を 50 年以上前から歩んでいたのだ。政治は二流と書いたが、実際には 1978 年福田内閣の下、日中平和友好条約が締結され、その後日本企業が鄧小平の作った経済特区に一気に進出して、日本経済と中国経済の成長の礎を作った。その政治も今や三流に成り下がってしまった。日本の構造を根本的に変えるときである。

7 月度理事会より (第 227 回 7 月 20 日)

(GS : 業務支援事業)

事務局

1. NPO 保険更新手続きのための活動データ→依頼了承	6. 東京都への届出書類の提出受理及び前川行政書士の件 →報告了承
2. GS-「企画会議」・「技術会議」の日当 →可決承認	7. 総会後の挨拶状の発送 →報告了承
3. GS 企画 G-「DX 事業化チーム」「教育事業チーム」の設立 →可決承認	8. SEF 事務所での備え置き書類 →報告了承
4. プレインワークス・月島機械との契約 →可決承認	9. 2022 年 6 月度会員交流会議事録 →報告了承
5. GS 第 21 期 1Q の活動報告 →報告了承	10. 2022 年 5 月・6 月度月次会計報告 →報告了承

事業報告 (業務支援事業部 企画 G)

担当理事 佐立弘臣

4 月より業務支援事業部は企画 G、技術 1G(主としてディスクリート分野)、技術 2G(主としてプロセス・検査分野)の 3 グループで運営しています。企画 G は営業を経験された会員と主に講演、講義など社内教育を担当する会員で構成されています。現在、コロナの感染が長期化し、テレワークを実施する企業が多くなってきました。テレワークの中でいかに人材育成をするかが課題になってきます。その課題に対応すべく企画 G の中に「教育事業化チーム」を設立し、要望に応じていきます。講演・講義のテーマは業務支援事業部だけでなく、SEF サロン、コミ研、JJ 研にある講演テーマも含め活動していきます。2018 年、経済産業省は「DX レポート「2025 年の崖」」を発表し、日本の DX に警鐘を鳴らしました。それ以降、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進に取り組む企業が増えてきましたが、多くの企業はまだ DX の前段階といえる「デジタル化」にとどまっています。企画 G の中に「DX 事業化チーム」を設立し、中堅、中小企業の DX 支援を進めてまいります。会員の活躍の場を一つでも多くなるよう活動をしていきます。ご協力よろしくお願いします。

SEF サロン (第 123 回報告・第 124 回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第 123 回報告 》

日時:2022 年 7 月 20 日(水)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 坂下幸司 SEF 理事

題目:「コンビナート CO2 削減 一年調査後」

2021 年 3 月 SEF サロン「湾岸ゼロエミッションコンビナート」で講演のあった、千葉沿岸コンビナートを対象とした CO2 削減調査研究の実施 1 年後の報告。対応策の体系化が示されたが、政府が 2030 年目標としているがゼロエミッションの実現にはまだ問題が多く残っている。「日本の石油石化プラントの特徴は、CO2 が出やすい」との指摘もあった。

《 第 124 回案内 》

日時:2022 年 9 月 21 日(水)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 堀田研二 SEF 準会員

題目:「サイバーセキュリティにおける危機管理(仮)」

7 月度会員動向

事務局

会員の入退会

なし

7 月末日現在の会員数

正会員 : 22 名、準会員 : 43 名

賛助会員 : 5 社+1 団体